
犬

時吾

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

犬

【Nコード】

N2567Z

【作者名】

時吾

【あらすじ】

一人ぼっちの彼と、とても美しい犬のお話。

読むのに5分もかからないと思うので、少しでも気になった方は是非読んでみて下さい。

(前書き)

初投稿です。超短いです。

文章は読みづらい部分がたくさんあると思います・・・すみません。
説明不足な所や不完全燃焼なことかなんかもうたくさんあります

(汗

深く考えずに(?)読んでみるといいかもしれません。

彼は、一人ぼっちだった。

彼は周りの人たちから軽蔑され、非難されていた。

彼が人に近づけば、皆離れて行き、そして暴言を浴びせられるのであった。

彼は、嫌われていた。

だが、彼にも心安らげる場所があった。

ペットショップだ。

ペットショップにいる客たちは、皆親切で、彼の友人だった。

ある日、彼がいつものようにペットショップへ行くと、一匹の犬がいた。

とても美しく、高価な雌の犬だった。

彼は、その犬を飼いたいと思ったが、それだけの犬を買い取る貯金がなかった。

彼は、この綺麗な犬にはもっといい飼い主がいるだろうと諦め、頭をうな垂れて帰った。

彼は、飼う事は出来なかったが、見つめ合う事は出来た。

彼は、時には一日中その犬のそばにいる事もあった。

だが、彼はとても自分が飼って良い様な犬ではないと割り切っていた。

それから一週間が過ぎた。

彼が家に戻ってくると、彼の家の前に見覚えのある犬が座っていた。

そう、あの美しい高価な雌の犬だった。

この犬は、自ら飼い主を選んだ。

その飼い主は、勿論彼だ。

彼はとても喜び、大切に育てた。

毎日の様に遊び、毎日のように世話をし、朝から晩まで一緒にいる事も多くあった。

彼にとつて、唯一の心の癒しであり、支えでもあった。

また、犬も、彼の事を信頼し、自分にふさわしい「飼い主」であると感じていた。

その反面、飼い主は不安も感じていた。

こんなに美しく、高価な犬をこの様な自分が面倒を見ていいのだろうか。

もし、この犬との別れが来た時、自分は平気なのだろうか。

だが、飼い主は深く考えない様にした。

今はこんなに幸せなのだ。今はこの幸せを心に刻んでおこう、と。

飼い主は幸せだった。

(後書き)

初投稿と言う事もあり、力量不足です・・・
文章力、日本語力共に乏しいので、ちゃんと使えているかすら心配
です^^;;

その事に対しての意見、大歓迎です。待ってます。

実はこの作品、続きがあつたんですが、あえて書かない事にしまし
た。

ハッピーエンドで終わらせたかったので(笑)

最後に、このような作品に目を通していただき本当にありがとうございました。
ございます。

意見や感想等、これからの参考にして行きたいので、コメントを残
してくれらるととても嬉しいです。

ありがとうございました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2567z/>

犬

2011年12月9日02時13分発行